

2020.7 作成

### ワークショップ FAQ

### 1. ワークショップとは何ですか?

IB でのワークショップとは教員研修のためのワークショップです。認定校になるまでには学校は教員をワークショップに参加させることが必要です。認定校になったのちも、自己研鑽のためにワークショップに参加することをお勧めします。対面式のものは通常3日間、オンラインのものは種類によって期間がことなります。

## 2. ワークショップの予定はどこで調べられますか?

IB 主催のワークショップの予定は IB の公式ウエブサイトで見ることが出来ます。

https://www.ibo.org/



Find workshops をクリックすると検索のページに飛びます。

例えば、Country/territoryのドロップダウンメニュから Japan を選ぶと国内で開催されるものの一覧が出ます。日程、使用言語、会場校などを確認の上、お選びください。

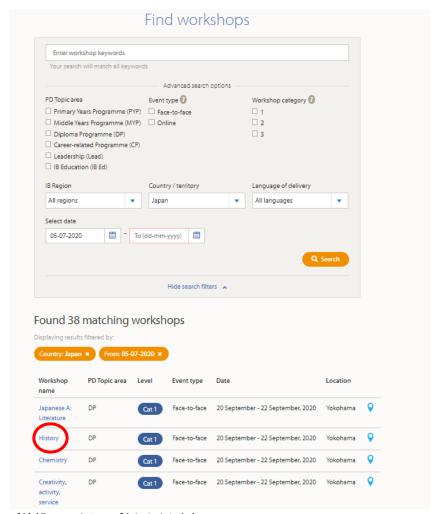
## 3. ワークショップにはどれを選べばいいですか?

ワークショップは①プログラム②内容③カテゴリー④開催方式に区分されています。

- ①プログラムは初等教育プログラム(PYP)、中等教育プログラム(MYP)、ディプロマプログラム(DP)、キャリア関連プログラム(CP)に区分されています。
- ②内容は例えば管理職向け(Administrator や Head of school)、コーディネーター向け(Coordination や Leading the learning)や科目ごと(例えば DP 化学、MYP 理科)に区分されています。
- ③カテゴリーには1, 2, 3があります。Cat1 は誰でも参加できるワークショップです。Cat2 は IB 校での経験が数年以上ある教員向けのワークショップです。Cat3 はテーマごとに誰でも参加できるものと IB 教員としての経験が必要なものの両方があります。
- ④対面式 face-to-face(通常3日間)とオンライン online(数週間)のものがあります。 多くの種類のワークショップがありますので、説明をよく読んで適切なものを選択してください。

### 4. ワークショップはどのように申し込みますか?

#### ご希望のワークショップが決まったら、申し込みます。



ご希望のワークショップをクリックします。

候補校や認定校ではない方は other participant をクリックしてください。また、候補校でもドロップダウンリストに校名がない場合も other participant を選んでください。ドロップダウンリストに校名が反映されるのに時間がかかります。 ワークショップの費用はシンガポールドル建てで事前支払いでクレジットカード払いが基本となります。2020 年6月までは早割 Early Bird Rate で一人当たり\$916、通常 Standard Rate で一人あたり \$996 です。毎年値上げしますので、ご注意ください。クレジットカードでの支払いがどうしても出来ない場合は、日本担当地域開発マネージャー (ayumi.hosino@ibo.org)にご連絡ください。

#### 5. ワークショップの時程は?

ワークショップは通常、金曜日・土曜日・日曜日の3日間に開催されます。毎日 8:30 から 16:30 までです。一日に1時間半のセッションが4セッション、3日間で12セッションあります。初日の 8:30 から全体会があり、その後、ワークショップの種類ごとに教室に移動します。自分がどのワークショップに申し込んだか把握していないと困りますので、学校でコーディネータが申し込んでくれた場合は時にご確認の上、ご参加ください。昼食休憩は通常1時間半です。参加費用に昼食代も含まれていますので、昼食を持参する必要はありません。

#### 6. ワークショップでは誰が教えてくれますか?

ワークショップの講師役はワークショップリーダーと呼びます。ワークショップリーダーは IB 校の教員で、ワークショップリーダー になるための IB 主催の研修を終えている経験豊富な IB 校の教員です。ワークショップリーダーは様々な国籍の様々な



学校の教員で、ワークショップのために各地から集まってきます。会場校の教員ではないことがほとんどです。ワークショップリーダーの役割は IB の教育を紹介することです。日本の学習指導要用をはじめとする各国のナショナルカリキュラムに関しては知識と経験がないことはご承知おきくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

### 7. 出欠はとりますか?

出欠は毎セッション、ワークショップリーダーが確認をします。

#### 8. どのような内容ですか?

内容は科目等によって異なりますが、カテゴリー1の場合は、一日目は IB の教育全般についての内容で、次第に科目などに特化した内容になってきます。なた、カーj 九ショップは体系的な説明からなる講義中心ではなく、IB の教育の特徴である探究学習を経験しながら IB についての理解を深めるディスカッション、活動、プレゼンテーションなどが中心となります。様々な活動に参加する中で、自分の学びを構築していくことになります。せっかくの機会ですので、様々な学校の先生方と一緒に積極的に関わりながら理解を深めてください。

また、ワークショップでは IB 教育に関して経験豊富なワークショップリーダーと共に学びます。ワークショップリーダーは研修を受けていますが、日本の学習指導要領や日本の学校事情を知らない場合も多いです。日本の学校での導入に関する検討はワークショップ後に先生方が学校に戻ってから行ってください。

### 9. テストがあったり、成績がつきますか?

テストも成績もありません。が、せっかくの機会ですので、是非積極的に活動等に参加してください。全セッションに参加 した参加者には参加証が後日オンラインでダウンロードできるようになります。期限までにダウンロードを必ず行ってください。認定申請書を提出する際に、参加証のアップロードが必要になります。

### 10. 服装はスーツがいいですか?

海外のワークショップでは海外の教員はとてもラフな服装で参加することが多いです。日本ではビジネスカジュアルな方が多いです。ワークショップでは様々な活動がありますので、動きやすい服装、靴が適しています。

### 11. 欠席連絡はどこに連絡すればいいですか?

欠席連絡は不要です。

# 12. 問い合わせ先はどこですか?

ワークショップに関して IB からの返信可能なアドレスからメールが届いている場合は発信元にお問い合わせください。また、ワークショップリーダーからのメールに関する内容のお問い合わせは直接ワークショップリーダーにお願いします。 日本担当地域開発マネージャー(ayumi.hosino@ibo.org)にお問い合わせ頂くことも可能です。 会場校には問い合わせをしないようにお願い申し上げます。

以上

